

事業基盤部門

未来共創グループ

MRI 三菱総合研究所



未来共創グループ

オープンイノベーションにより社会課題をビジネスで解決し、コレクティブインパクトの創出へ

Mission

未来共創グループは、「100億人が100歳まで豊かに暮らせる持続可能な社会」の実現に向けて、会員プラットフォームなどの活動を通じ、社会課題をビジネスとイノベーションで解決に導くことを目指しています。常にグローバルな視野をもって、優先して取り組むべき重要課題を設定し、産学官民と共通の課題解決に向けて活動しています。以下、二つの事業活動を基軸に、より大きな社会的価値を生み出す「コレクティブインパクト」の創出に貢献します。

「未来共創イニシアティブ(ICF)」は、三菱総合研究所(MRI)がこれまで培ってきた多様なネットワークと会員基盤をベースに、社会課題をビジネスとイノベーションで解決するためのプラットフォームです。社会課題の抽出、解決策の収集、事業共創にわたるプログラムを企画・運用し、課題解決型の次世代社会モデルの構築と社会的インパクトの創出を目指しています。

「生活者市場予測システム(mif)」は、国内最大級(3万人×2千問×13年分)のアンケートパネルと、リアルな発言を収録するMROCパネルを用い、生活者意識や行動変化から未来を予測しています。

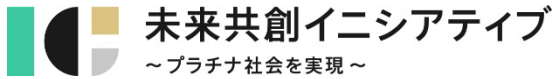
コレクティブインパクトを促進する仕組み作り



活動の基盤としてのエコシステム

Service

社会課題をビジネスで解決する会員プラットフォーム「未来共創イニシアティブ」、生活者意識や行動を定量・定性的データで予測する「mif」など、幅広いステークホルダーの皆さまと未来共創へ向けた活動を推進しています。



未来共創イニシアティブ(Initiative for Co-creating the Future:ICF)は、革新的技術の活用とオープンイノベーションによって、社会課題をビジネスで解決することを目指し、活動する会員組織です。

その目的は、「100億人が100歳まで豊かに暮らせる持続可能な社会」の実現に貢献することです。

ICFは、スタートアップ・ベンチャー企業を交えた産学官民の500を超える多様な会員で構成されています。共通のゴールを目指し、互いにイコールパートナー精神に基づく活動を通じて、より大きな社会課題解決=コレクティブインパクトを創出することを目指しています。

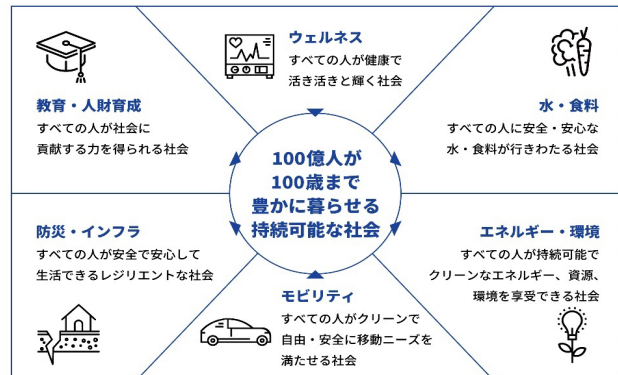
ICFが目指すゴール

- ICFでは、「100億人が100歳まで豊かに暮らせる持続可能な社会」の実現に向け、重要6分野においてゴール設定を行っています。

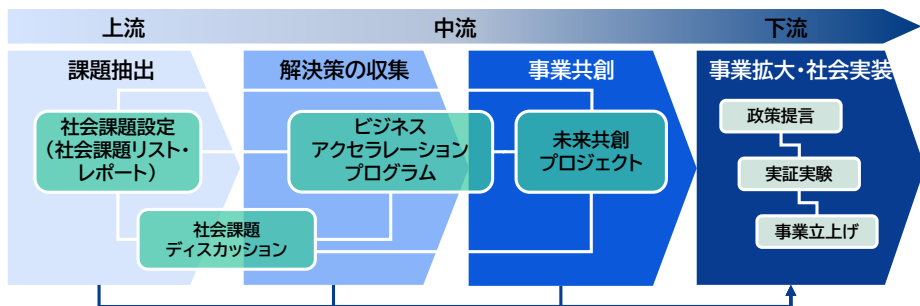
ICFの活動領域

- ICFの活動領域は、社会課題設定を起点に、解決の社会実装まで全領域(上流~下流)をカバーします
 - ⇒社会課題の抽出・設定 【上流】
 - ⇒社会インパクト事業の構想 【中流】
 - ⇒実現のプロジェクト化=座組形成 【下流】

ICFが設定する6分野のゴール



ICF活動領域:社会課題を解決に導くプロセスを通じて社会実装へ



主な活動内容

社会課題リスト(次ページ詳細)

- 「イノベーションによる解決が期待される社会課題リスト」(通称:社会課題リスト)を毎年発行
- 上記6分野別にテーマ抽出し、「問題」「課題」「解決の糸口」を整理。同時に各テーマの解説動画もサイトにて公開

Business Acceleration Program

- 社会課題をビジネスで解決することにフォーカスしたビジネスアクセラレーションプログラムを毎年開催
- スタートアップからのビジネス提案をもとに、インパクト戦略の検討や会員基盤との連携等、事業成長を支援

FY2023 ICF重点活動テーマ

- 毎年重点テーマを設定し、会員の皆さまと共創活動を実施
 - 例)CN・気候変動対応
 - 例)介護×ウェルネス
 - 例)食と健康(食生活イノベーション)
 - 例)女性の健康・活躍

Service

未来共創イニシアティブ (社会課題リスト) ～プラチナ社会を実現～

社会課題リストは、国内外のさまざまな社会課題を分析・整理し、特にイノベーションによる解決が期待される社会課題を6つの分野(ウェルネス、水・食料、エネルギー・環境、モビリティ、防災・インフラ、教育・人材育成)から抽出し、解説するものです。

今回の社会課題リスト2023では、新型コロナウイルス感染症の世界的流行やロシアのウクライナ侵攻などの世界情勢を踏まえて諸問題のアップデートを図りました。例えば人的資本経営の視点をとりにいれ、教育人材育成分野の「学び直しを行う社会人が少ない」の問題を全面改訂したほか、国際的な議論のながれをふまえて、水・食料分野の「豊かな社会に残る不健康な食」には「栄養不良の二重負荷」(低栄養と過栄養の併存)の問題を組み込んでいます。さらにサイエンスコミュニケーションの観点からビジュアルライズにも力を入れ、冊子デザインを一新しました。



社会課題リスト2023 <https://incf.smktg.jp/public/application/add/740>

mif Market Intelligence & Forecast 生活者市場予測システム

mifは、国内最大級の生活者アンケートパネルデータ(3万人×2千問×13年分)と、リアルな発言(定性データ)を収集するMROCパネルから構成されています。mif会員にご登録いただければ、これらデータベースを活用し、自社の市場予測や未来予測を自由に行うことができます。また、追加調査を利用すれば、よりきめ細かな生活者意識や新商品・サービスの利用意向の確認なども可能になります。

国内最大級の生活者データで、生活者心理を読み解き、生活者の心理・行動の「未来予測」を支援

長期

12年にわたるデータ蓄積

- ・2011年に調査を開始し、本年度12回目
- ・12年間のデータを時系列で分析可能
- ・世代の特徴を捉える分析も可能

最大級

国内最大級のアンケート調査

- ・設問数は2000問、多様な調査項目(価値観、生活様式、生活行動、社会課題意識など)
- ・ベーシック調査対象は3万人(20～69歳)(*)

簡単

簡単かつ多彩な分析機能

- ・簡単な導入研究で、誰でも、膨大なデータを使ったさまざまな観点からの分析が可能に
- ・決定木分析、設問間の関連度分析など、簡単分析機能

リアル

インサイト発見のプラットフォーム

- ・独自のMROCシステム「Listnr」を保有
- ・リアルな生活シーンの把握や、消費に繋がるインサイトの発見、新たな仮説の構築が可能

(*)別途、シニア調査(50～89歳、1.5万人)、ティーン調査(16～19歳、2千名)あり

例)mif2023速報セミナー <https://mif.mri.co.jp/seminars/177/attend>

お問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所 未来共創グループ

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

TEL:03-6858-3557 FAX:03-3591-3580 E-mail:incf-inq@mri.co.jp